

## 講演者紹介



浅沼 克彦 (あさぬま・かつひこ)  
千葉大学大学院医学研究院腎臓内科学 教授

1995年順天堂大学医学部卒業、虎の門病院内科研修医。98年順天堂大学腎臓内科学講座入局。2002年同大学院医学研究科修了。4年間米国研究留学。13年京都大学大学院医学研究科・特定准教授。17年より現職。日本内科学会（総合内科専門医・指導医）、日本腎臓学会（評議員・指導医・専門医）、日本透析医学会（指導医・専門医）、日本高血圧学会（指導医・専門医）などに所属。

メッセージ：腎臓の働きが落ちても、症状はほとんど出ず、気づいたときには、透析が必要な状況になっていることが多くあります。知らないうちに慢性腎臓病が進行しているケースが多いので、慢性腎臓病をどのように見つけ、どのように対応するべきか説明させていただきます。



鈴木 崇根 (すずき・たかね)  
千葉大学大学院医学研究院 環境生命医学 講師

1999年千葉大学医学部卒業、国保旭中央病院スーパーローテート。2001年千葉大学整形外科学講座入局。県内の関連病院で整形外科研修。2006年千葉大学大学院医学研究院整形外科学研究生（手外科専攻）。2008年整形外科専門医取得。同年、環境生命医学助教となる。国内では、外科医が自己研鑽の為に解剖することができない事実には驚き、2010年に医師が自由にご遺体から学ぶ事ができる施設、クリニカルアナトミーラボ（CAL）を千葉大学に設立。18年より現職。日本整形外科学会（専門医）、日本手外科学会、日本解剖学会などに所属。千葉手・肘の外科研究会世話人、CST研究会世話人。

メッセージ：皆さんは、献体・解剖と聞いて何を思い浮かべますか？治療の結果を調べる解剖？死因を究明するための解剖？今回はそのどれでもない「正常解剖」についてわかりやすく説明します！